

## たちあがれ荒尾

荒尾の活性化のために私は3つ提案します。

一つ目は、「まじゃクリーン PROJECT」です。

このプロジェクトは熊本県荒尾市の「市の魚」でもある特産品マジャクが住む有明海の海岸、干潟の清掃をし、清掃活動後は参加者でマジャクを食べるという内容です。

実際に、清掃活動後、有明海産のマジャクを食べることで、マジャクが住む有明海へのゴミ0の意識を高めるといった目的です。これは荒尾市に限らず、有明海沿岸のまちでも、様々な名産品とかけ合わせてできると思います。

二つ目は、宮崎兄弟グッズを作ることです。宮崎兄弟とは熊本県荒尾市にゆかりの歴史上人物で中国辛亥革命の孫文とも関係ある人物です。実際に、荒尾市の観光地として「宮崎兄弟生家」があります。今年は辛亥革命100周年です。

そこで100周年の記念として宮崎兄弟グッズの作成をします。キーホルダーや、クリアファイルなどグッズを作成し、もっと宮崎兄弟を全国へ広めようという考えです。観光地にはやはり、観光地ならではのお土産が地域活性化の戦略となると思います。

三つ目は、ニート、引きこもりの雇用支援です。

ニートや、引きこもりなどの社会に踏み出すことがなかなかできずにいる人たちだけが、働く工場を立ち上げることで、その工場は地元の名産を使った商品を作ります。

つまり、地域ブランドの商品工場です。例を挙げると、荒尾市なら「梨」が特産品です。

その「梨」を使った商品はあるものの、物産館や直売所のみでしか見かけません。

もっと特産品なら様々な場所で売るべきです。愛媛のポンジュースも全国のコンビニ、スーパーで買うことができます。梨ジャム、梨パイ、梨ジュースなど地元特産品を広めることによる地域の活性化、また雇用支援のための地元特産品工場を提案します。